

---

# この世はிரらない？

アヤッチ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

この世はいらない？

### 【Nコード】

N36760

### 【作者名】

アヤツチ

### 【あらすじ】

神はこの世を消そうと計画していた。

だが、ホルスが止めようとしたが・・・。

白い世界で

一人の男は立っている

神「現代の世界はなんと、すさんでいるのかと」

すると、一人の天使がやってくる

ホルス「神よ。もう少しお待ち下さい。」

神「なんだ？」

神はふりむく

ホルス「貴方は人間を信じないのですか？」

神「人間？あんなものはただの破壊者にすぎない」

ホルス「そんなことはありません。貴方は誤解していらっしやる」

神「なんだと・・・？私が間違っているというのか？」

ホルス「ええ。貴方は間違っている。貴方は神という名の権力を使い、世の中を消そうとしている」

神「ああそうだが。」

ホルス「世の中をくらんくください。人間は絶望に落ちようとも、みんな生きようとかんばっています」

神「そうだ、だから、犠牲が増す。」

ホルス「それはなんですか・・・？」

神「自然の恵みと命だ。そして、我らだ。」

ホルス「我ら・・・ですか？」

神「神は人の思想が生み出した。そう、我らの存在は人間によって保っている。」

ホルス「ええ。」

神「だが、どうだ。人は滅亡に向かっているのみではないか！」

ホルス「……………」

神「そんなものに、価値はない！」

ホルス「命に価値？確かに、人に価値はない。」

神「ほう。わかってるじゃないか。」

ホルス「命に価値をつけるなんて、甘いですよ。命はそんなに甘くありません。」

神「どの口がいうんだ…………？」

ホルス「自分の真実からです。」

神「そうか。では、貴様の天使の権利を外し、地獄に落ちろ。」

ホルス「えっ!?!？」

ホルスは地上に落ち行く

続く〃



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3676o/>

---

この世はிரない？

2010年10月17日20時43分発行